**令 和 ６ 年 度**

**三股町教育研究所要覧**

****

名　称　　　三股町教育研究所

所在地　　　〒８８９－１９０２

宮崎県北諸県郡三股町五本松８番地１

三股中央公民館内

事務局　　　宮崎県北諸県郡三股町五本松8番地１

三股町教育委員会教育課

TEL (0986)－52－9314

FAX (0986)－52－9724

三股町ホームページ（三股町教育研究所）

https://www.town.mimata.lg.jp

**は　じ　め　に**

明治２年、三島通庸（みしま みちつね）が藩政時代の郷中教育の振興、郷校の創立、優れた教師の招聘、近代教育の導入と整備充実を開拓の基本として提唱されたことから、三股町は文教の町「文教みまた」と言われるようになりました。「文教みまた」の継承と発展のために、平成元年には三股町教育研究所の開設、平成２２年には三股町児童生徒憲章が制定されました。

|  |
| --- |
| 目　　　　　　次  　　三股町児童生徒憲章（表紙裏）  １　　三股町教育研究所の沿革‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　１  ２　　三股町教育研究所に関する条例‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　４  ３　　三股町教育研究所に関する条例施行規則‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　４  ４　　三股町教育研究所運営要項‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　５  ５　　連携する教育機関・団体等‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　６  ６　　研究員心得‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　６  ７　　創立以来の研究主題・副題・刊行物‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　７  ８　　研究所員‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　８  ９　　研究の概要‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　９  10　 研究の全体構想‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ １０  11　　事業計画（案）‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ １１  12　　歴代研究所員‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ １２  13　　令和６年度三股町立小・中学校の研究主題・副題‥‥‥‥‥‥‥ １５ |

**１　三股町教育研究所の沿革**

平成元年　７月１日　　 三股町教育研究所に関する条例制定

三股町教育研究所に関する条例施行規則制定

三股町教育研究所開設

初代所長　桑畑徳次郎氏就任

三股町教育研究所開所式並びに辞令交付式

　　平成元年　11月24日 三股町教育研究所研究発表大会

　　平成２年　４月１日 九州教育研究所連盟加入

　　平成２年　４月23日 平成２年度開所式並びに辞令交付式

　　平成２年　12月６日 三股町教育研究所研究発表大会

　　　平成２年　12月25日 平成２年度宮崎県教育研究機関教育研究発表大会

　　平成３年　３月16日 平成２年度三股町教育研究所閉所式

　　平成３年　４月18日 平成３年度三股町教育研究所開所式並びに辞令交付式

　　平成３年　12月２日 三股町教育研究所研究発表大会

　　平成３年　12月25日 平成３年度宮崎県教育研究機関教育研究発表大会

　　平成４年　３月６日 平成３年度三股町教育研究所閉所式

　　平成４年　４月１日 第２代所長　隈元次也氏就任

　　平成４年　４月16日 平成４年度三股町教育研究所開所式並びに辞令交付式

　　平成４年　11月30日 三股町教育研究所研究発表大会

　　平成５年　１月14日 平成４年度宮崎県教育研究機関教育研究発表大会

　　平成５年　３月12日 平成４年度三股町教育研究所閉所式

　　平成５年　４月30日 平成５年度三股町教育研究所開所式並びに辞令交付式

　　平成６年　１月13日 平成５年度宮崎県教育研究機関教育研究発表大会

　　平成６年　２月16日 三股町教育研究所研究発表大会

　　平成６年　３月10日 平成５年度三股町教育研究所閉所式

　　平成６年　４月28日 平成６年度開所式並びに辞令交付式

　　平成７年　１月13日 平成６年度宮崎県教育研究機関教育研究発表大会

　　平成７年　２月15日 三股町教育研究所研究発表大会

　　平成７年　３月14日 平成６年度三股町教育研究所閉所式

　　平成７年　４月28日 平成７年度開所式並びに辞令交付式

　　平成８年　２月９日 平成７年度宮崎県教育研究機関教育研究発表大会

　　平成８年　２月14日 三股町教育研究所研究発表大会

　　平成８年　３月15日 平成７年度三股町教育研究所閉所式

　　平成８年　４月１日 第３代所長　中西泰昌氏就任

　　平成８年　５月10日 平成８年度開所式並びに辞令交付式

　　平成８年　12月６日 三股町教育研究所研究発表大会

　　平成９年　２月４日 平成８年度宮崎県教育機関教育研究発表大会

　　平成９年　３月13日 平成８年度三股町教育研究所閉所式

　　平成９年　４月28日 平成９年度三股町教育研究所開所式並びに辞令交付式

　　平成９年　11月20日 三股町教育研究所研究発表大会

　　平成10年　２月３日 平成９年度宮崎県教育研究機関教育研究発表大会

　　平成10年　３月12日 平成９年度三股町教育研究所閉所式

　　平成10年　４月28日 平成10年度三股町教育研究所開所式並びに辞令交付式

　　平成10年　11月19日 三股町教育研究所研究発表大会

　　平成11年　２月４日 平成10年度宮崎県教育研究機関教育研究発表大会

　　平成11年　３月11日 平成10年度三股町教育研究所閉所式

平成11年　11月18日 三股町教育研究所研究発表大会

　　平成12年　２月10日 平成11年度宮崎県教育研究機関教育研究発表大会

　　平成12年　３月９日 平成11年度三股町教育研究所閉所式

　　平成12年　４月25日 平成12年度三股町教育研究所開所式並びに辞令交付式

　　平成12年　11月10日 三股町教育研究所研究発表大会

　　平成13年　１月16日 平成12年度宮崎県教育研究機関教育研究発表大会

　　平成13年　３月15日 平成12年度三股町教育研究所閉所式

　　平成13年　４月24日 平成13年度三股町教育研究所開所式並びに辞令交付式

　　平成13年　11月13日 三股町教育研究所研究発表大会

　　平成14年　１月17日 平成13年度宮崎県教育研究機関教育研究発表大会

　　平成14年　３月14日 平成13年度三股町教育研究所閉所式

　　平成14年　４月23日 平成14年度三股町教育研究所開所式並びに辞令交付式

　　平成14年　10月21日 三股町教育研究所研究発表大会

　　平成15年　 1月16日 平成14年度宮崎県教育研究機関教育研究発表大会

　　平成15年　 3月13日 平成14年度三股町教育研究所閉所式

　　平成15年　 4月24日 平成15年度三股町教育研究所開所式並びに辞令交付式

　　平成15年　10月30日 三股町教育研究所研究発表大会

　　平成16年　 1月15日 平成15年度宮崎県教育研究機関教育研究発表大会

　　平成16年　１月22・23日　平成15年度九州地区教育研究所連盟第54回研究発表大会（大分県）

平成16年　 3月12日 平成15年度三股町教育研究所閉所式

　　平成16年　 4月22日 平成16年度三股町教育研究所開所式並びに辞令交付式

　　平成16年 　6月21日 第４代所長　田中久光氏就任

平成16年　11月２日 三股町教育研究所研究発表大会（三股小学校）

　　平成17年　 1月15日 平成16年度宮崎県教育研究機関教育研究発表大会

　　平成17年　１月20・21日　平成16年度九州地区教育研究所連盟第55回研究発表大会（福岡県）

　　平成17年　 3月12日 平成16年度三股町教育研究所閉所式

　　平成17年　 4月21日 平成17年度教育研究所委嘱状交付式

平成17年　11月11日 三股町教育研究所研究発表大会（勝岡小学校）

　　平成18年　 1月12日 平成17年度宮崎県教育研究機関教育研究発表大会

　　平成18年　１月19・20日　平成17年度九州地区教育研究所連盟第56回研究発表大会（佐賀県）

平成18年　 2月27日 平成17年度三股町教育研究所閉所式

　　平成18年　 4月20日 平成18年度三股町教育研究所委嘱状交付式

平成18年　11月８日 三股町教育研究所研究発表会（三股中学校）

平成18年　11月16日　　　三股町教育研究所授業研究会（三股小学校）

　　平成19年　１月18・19日　平成18年度九州地区教育研究所連盟第57回研究発表大会（長崎県）

平成19年　 1月23日 平成18年度宮崎県教育研究機関教育研究発表大会

　　平成19年　３月２日 平成18年度三股町教育研究所閉所式

　　平成19年　４月19日　　　平成19年度三股町教育研究所委嘱状交付式

　　平成19年　11月８日　　　三股町教育研究所研究発表会（三股西小学校）

　　平成19年　11月22日　　　三股町教育研究所授業研究会（三股中学校・三股西小学校）

　　平成20年　１月17・18日　平成19年度九州地区教育研究所連盟第58回研究発表大会（熊本県）

　　平成20年　 1月22日 平成19年度宮崎県教育研究機関教育研究発表大会

　　平成20年　２月26日 平成19年度三股町教育研究所閉所式

平成20年　４月17日　　　平成20年度三股町教育研究所委嘱状交付式

平成20年　８月６日 平成20年度三股町教育研究所・小中一貫教育合同研修会（三股中学校）

平成20年　11月19日 平成20年度三股町教育研究所・小中一貫教育合同研修会（三股中学校）

平成20年　12月６日 三股町教育研究所創立20周年記念式典

　　平成21年　１月22・23日　平成20年度九州地区教育研究所連盟第59回研究発表大会（沖縄県）

平成21年　２月13日 平成20年度宮崎県教育研究機関教育研究発表大会（宮崎産業経営大学）

　　平成21年　２月26日 平成20年度三股町教育研究所閉所式

　　平成21年　４月24日　　　平成21年度三股町教育研究所委嘱状交付式

平成21年　８月５日　　　平成21年度夏季小中合同研修会（元気の杜）

平成21年　11月25日 平成21年度秋季小中合同研修会（梶山小学校･宮村小学校･長田小学校）

　　平成22年　１月14・15日　平成21年度九州地区教育研究所連盟第60回研究発表大会（鹿児島県）

平成22年　２月９日 平成21年度宮崎県教育研究機関教育研究発表大会（宮崎産業経営大学）

平成22年　２月26日 平成21年度三股町教育研究所閉所式

　　平成22年　４月23日　　　平成22年度三股町教育研究所委嘱状交付式

　　平成22年　８月２日　　　平成22年度夏季小中合同研修会（元気の杜）

　　平成22年　11月24日 「文教みまた」子どもサミット（三股町立全小・中学校）

　　平成22年　11月25日　　　平成22年度九州地区教育研究所連盟第61回研究発表大会（宮崎市）

平成23年　２月10日 平成22年度宮崎県教育研究機関教育研究発表大会（宮崎市）

平成23年　２月25日 平成22年度三股町教育研究所閉所式

平成23年　４月21日　　　平成23年度三股町教育研究所委嘱状交付式

平成23年　８月３日　　　平成23年度三股町教育研究会夏季研修会（元気の杜）

　　平成23年　11月16日 平成23年度三股町教育研究会秋季研修会（三股小学校）

　　平成23年　12月16日 教育の情報化に関する研修会（中央公民館）

　　平成23年　11月17・18日　平成23年度九州地区教育研究所連盟第62回研究発表大会（大分県）

平成24年　２月10日 平成23年度宮崎県教育研究機関教育研究発表大会（宮崎市）

平成24年　２月28日 平成23年度三股町教育研究所閉所式

平成24年　４月24日　　　平成24年度三股町教育研究所委嘱状交付式

平成24年　６月21日　　　第５代所長　岩﨑健一郎氏就任

平成24年　８月１日　　　平成24年度三股町教育研究会夏季研修会（三股小学校）

平成24年　11月14日　　　平成24年度三股町教育研究会秋季研修会（三股中学校）

平成24年　11月15・16日　平成24年度九州地区教育研究所連盟第63回研究発表大会（福岡県）

平成25年　 2月 8日 平成24年度宮崎県教育研究機関教育研究発表大会（宮崎市）

平成25年　 2月26日 平成24年度三股町教育研究所閉所式

平成25年　 4月23日　　　平成25年度三股町教育研究所委嘱状交付式

平成25年　 4月25日　　　第６代所長　宮内浩二郎氏就任

平成25年　 8月 1日　　　平成25年度三股町教育研究会夏季研修会（元気の杜）

平成25年　11月14・15日　平成25年度九州地区教育研究所連盟第64回研究発表大会（佐賀県）

平成25年　11月20日　　　平成25年度三股町教育研究会秋季研修会（三股西小学校）

平成26年　 2月 7日 平成25年度宮崎県教育研究機関研究発表大会（宮崎市）

平成26年　 2月25日 平成25年度三股町教育研究所閉所式

平成26年 4月22日 平成26年度三股町教育研究所委嘱状交付式

平成26年　 8月 6日　　　平成26年度三股町教育研究会夏季研修会（元気の杜）

平成26年　11月13・14日　平成26年度九州地区教育研究所連盟第65回研究発表大会（長崎県）

平成26年　11月19日　　　平成26年度三股町教育研究会秋季研修会（三股中学校）

平成27年　 2月 6日 平成26年度宮崎県教育研究機関研究発表大会（宮崎市）

平成27年　 2月24日 平成26年度三股町教育研究所閉所式

平成27年　 4月14日　　　平成27年度三股町教育研究所委嘱状交付式

平成27年　 8月 5日　　　平成27年度三股町教育研究会夏季研修会（元気の杜）

平成27年　11月12・13日　平成27年度九州地区教育研究所連盟第65回研究発表大会（熊本県）

平成27年　11月18日　　　平成27年度三股町教育研究会秋季研修会（勝岡小学校）

平成27年　 2月 4日 平成27年度宮崎県教育研究機関研究発表大会（宮崎市）

平成27年　 2月23日 平成27年度三股町教育研究所閉所式

平成28年　 4月12日　　　平成28年度三股町教育研究所委嘱状交付式

平成28年　 4月13日　　　平成28年度三股町教育研究会春季研修会（元気の杜）

平成28年　 8月 2・23日 平成28年度三股町教育研究会夏季研修会（５会場にて教科別研究会）

平成28年　11月10・11日　平成28年度九州地区教育研究所連盟第65回研究発表大会（沖縄県）

平成28年　11月24日　　　平成26・27・28年度県指定「基礎学力定着指導実践推進地域」研究公開

平成29年　 2月10日 平成28年度宮崎県教育研究機関研究発表大会（県教育研修センター）

平成29年　 2月21日 平成28年度三股町教育研究所閉所式

平成29年　 4月18日　　　平成29年度三股町教育研究所委嘱状交付式

平成29年　 8月 2日 平成29年度三股町教育研究会夏季研修会（元気の杜）

平成29年　11月15日　　　平成29年度三股町教育研究会秋季研修会（梶山小、宮村小、長田小）

平成29年　11月21・22日　平成29年度九州地区教育研究所連盟第65回研究発表大会（鹿児島県）

平成30年　 2月 9日 平成29年度宮崎県教育研究機関研究発表大会（県教育研修センター）

平成30年　 2月20日 平成29年度三股町教育研究所閉所式

平成30年　 4月17日　　　平成30年度三股町教育研究所委嘱状交付式

平成30年　 8月 2日　　　平成30年度三股町教育研究会夏季研修会（元気の杜）

平成30年　11月14日　　　平成30年度三股町教育研究会秋季研修会（三股中学校）

平成30年　11月21・22日　平成30年度九州地区教育研究所連盟第69回研究発表大会（宮崎県）

平成31年　 2月 8日　　　平成30年度宮崎県教育研究機関研究発表大会（県教育研修センター）

平成31年　 2月21日 平成30年度三股町教育研究所閉所式

平成31年　 4月 1日　　　第７代所長　石崎敬三氏就任

平成31年　 4月23日　　　平成31年度三股町教育研究所委嘱状交付式

令和元年　 8月 6日　　　令和元年度三股町教育研究会夏季研修会（元気の杜）

令和元年　11月13日　　　令和元年度三股町教育研究会秋季研修会（三股小学校）

令和元年　11月21・22日　令和元年度九州地区教育研究所連盟第70回研究発表大会（大分県）

令和元年　 2月 7日 令和元年度宮崎県教育研究機関研究発表大会（県教育研修センター）

令和２年　 2月20日　　　令和元年度三股町教育研究所閉所式

令和２年　 4月28日　　　令和２年度三股町教育研究所委嘱状交付式

令和２年　12月 3日　　　令和２年度三股町教育研究所研究発表会

令和３年　 2月16日　　　令和２年度三股町教育研究所閉所式

（九州大会、県大会等は新型コロナウイルス感染症対策のため中止となる）

令和３年　 4月27日　　　令和３年度三股町教育研究所委嘱状交付式

令和３年 8月 2日　　　令和３年度三股町教育研究会夏季研修会（オンライン開催）

令和３年　11月10日　 　 令和３年度三股町教育研究会秋季研修会（オンライン開催）

令和４年　 2月 4日 令和３年度宮崎県教育研究機関研究発表大会（オンライン開催）

令和４年　 2月18日　　　令和３年度三股町教育研究所閉所式

（九州地区研究発表大会佐賀大会は、新型コロナウイルス感染防止対策のため紙上発表のみ）

令和４年　 4月 1日　　　第８代所長　米丸麻貴生氏就任

令和４年　 4月26日　　　令和４年度三股町教育研究所委嘱状交付式

令和４年　 8月 1日　　　令和４年度三股町教育研究会夏季研修会（元気の杜）

令和４年　11月14日　　　令和４年度三股町教育研究会秋季研修会（勝岡小学校）

令和４年　11月17・18日　令和４年度九州地区教育研究所連盟第73回研究発表大会（長崎県）

令和４年　 2月 3日 令和４年度宮崎県教育研究機関研究発表大会（県教育研修センター）

令和４年　 2月16日　　　令和４年度三股町教育研究所閉所式

令和５年　 4月25日　　　令和５年度三股町教育研究所委嘱状交付式

令和５年　 8月 1日　　　　　　令和５年度「ＧＩＧＡワークブック活用講座」（オンライン受講）

令和５年　　11月17・18日 　令和５年度九州地区教育研究所連盟第74回研究発表大会（熊本県）

令和５年　　11月14日　 　 　　　令和５年度三股町教育研究会秋季研修会（勝岡小学校）

令和６年　 2月16日 　　　　　令和５年度三股町教育研究所閉所式

令和６年　 4月23日　　　 令和6年度三股町教育研究所委嘱状交付式

**２　三股町教育研究所に関する条例**　（平成元年６月26日　条例第17号）

　　（目的及び設置）

第1条　この条例は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）

第30条の規定に基づき、教育に関する専門的、技術的事項の研究及び町立学校職員の研修を行うため三股町教育研究所（以下「研究所」という。）を設置する。

　　（位　置）

第2条　研究所は、三股町教育委員会事務局内に置く。

　　（職　員）

第3条　研究所に、所長その他必要な職員を置く。

　　（事　業）

第4条　研究所の行う事業は、次のとおりとする。

(1) 教育に関する専門的、技術的事項の調査及び研究に関すること。

(2) 教育に関する資料の収集、整理及び活用に関すること。

(3) 教育関係職員の研修に関すること。

(4) 教育事象に関する相談、助言に関すること。

(5) 調査及び研究結果の普及に関すること。

(6) その他、目的を達成するために必要な事業。

　　（委　任）

第5条　この条例に定めるもののほか、必要な事項は教育委員会が別に定める。

　　　附　則

　　この条例は、平成元年７月１日から施行する。

**３　三股町教育研究所に関する条例施行規則**（平成7年５月11日　教育委員会規則第10号）

改正　平成13年4 月10日教育委員会規則第4号　平成17年3月23日教育委員会規則第2号

平成18年3月22日教育委員会規則第2号 平成25年3月4日教育委員会規則第5号

平成26年1月8日教育委員会規則第4号　　平成30年5月1日教育委員会規則第2号

令和2年1月7日教育委員会規則第1号

　　三股町教育研究所に関する条例施行規則（平成元年三股町教育委員会規則第５号）の全部を改正する。

　　（目　的）

第１条　この規則は、三股町教育研究所に関する条例（平成元年三股町条例第17号）の施行に関し必要な事項を定めることを目的とする。

　　（事務局）

第２条　三股町教育研究所（以下「研究所」という。）の事務局は、三股町教育委員会事務局（以下「事務局」という）内に置く。

　　（職　員）

第３条　研究所に次の職員を置く。

（１）所長

（２）次長

（３）研究指導員

（４）研究員

　　（所　長）

第４条　所長は教育長をもって充てる。

２　所長は、所務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

　　（次　長）

第５条　次長は、教育課長をもって充てる。

２　次長は、所長を補佐し、所長不在の時にはその職務を代理し、所長事に事故があるときにはその職務を代行する。

　　（研究指導員）

第６条　研究指導員（以下「指導員」という。）は、三股町教育委員会（以下「教育委員会」という。）が任命する。

２　指導員は、所長の命を受け、次の業務に当たる。

（１）事業運営に関すること。

（２）研究員の指導助言に関すること。

（３）その他教育課の業務支援に関すること。

３　指導員は、地方公務員法（昭和25年法律第261号）第22条の2第1項第1号に規定する会計年度任用職員とする。

４　指導員の定数は、１名とする。

５　指導員の任期は、その任命の日から同日の属する会計年度の末日までとする。

６　指導員は、再任することができる。

７　教育委員会は、前項の規定にかかわらず、特別の事由があるときは、前項の期間中においても、指導員を解任することができる。

　　（勤務時間等）

　第７条　指導員の勤務日数は、1週間につき３日とし、１日の勤務時間は７時間３０分とする。ただし、必要に応じて勤務時間の割振りの変更を行うことができる。

　　（研究員）

第８条　研究員は、町立学校の教職員のうちから教育委員会が委嘱する。

２　研究員は、所長の命を受け、研究に従事する。

３　研究員の定数は、１０名以内とする。

４　研究員の任期は、２年とする。ただし、やむをえない事情があると教育委員会が認めるときは、任期中に退任することができる。この場合においては、補欠として委嘱した研究員の任期は、前任者の残任期間とする。

５　特段の事情があると教育委員会が認めるときは、研究員を再任することができる。

　　　（報　告）

第９条　所長は、次の事項について教育委員会に報告しなければならない。

（イ）前年度の研究結果

（ロ）教育委員会において事実を了知しておく必要があると認める事項

　　　（準　用）

第10条　文書の取扱い、公印の管守、職員の服務等については、事務局の例による。

　　　（委　任）

第11条　この規則に定めるもののほか、研究所に関し必要な事項は、別に所長が定める。

　　　附　則

　　この規則は、平成7年6月１日から施行する。

　　　　附　則（平成13年4月10日教育委員会規則第4号）

　　この規則は、公布の日から施行し、平成13年4月1日から適用する。

　　　　　附　則（平成17年3月23日教育委員会規則第2号）

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

　　　　　附　則（平成18年3月22日教育委員会規則第2号）

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

　　　　附　則（平成25年3月4日教育委員会規則第5号）

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附　則（平成26年1月8日教育委員会規則第4号）

この規則は、平成26年4月1日から施行する

　　　　附　則（平成30年5月1日教育委員会規則第2号）

この規則は、公布の日から施行する。

附　則（令和2年1月7日教育委員会規則第1号）

この規則は、公布の日から施行する。

**４　三股町教育研究所運営要項**

(1) 三股町教育研究所に関する条例第４条に定める事業を計画的に実施し、学習指導や生　　徒指導の学校教育に役立つ研究を行い、町内小・中学校の教育水準並びに教職員の資質　　の向上に資する。

(2) 研究を進めるに当たっては、研究主題を定め、研究員全員による共同研究を行うものとする。なお、共同研究に際しては、研究員の個人研究の成果を生かすように努める。

(3) 当教育研究所の研究成果は、発表会や刊行物等によって公開発表してその普及を図るとともに、学校、関係機関・団体等の理解と協力が得られるようにする。

（ア）発表会

　　　　　　①研究所主催の研究発表会（閉所式）

②三股町教育研究会秋季研修会

（イ）刊行物等

　　　①研究所要覧　　②研究所だより　　③研究紀要　　④その他

（ウ）その他必要なもの

(4) 研究所の運営と研究のために、次の組織と担当主任を置く。

班　研

学習指導法研究班

全体研究会

主幹・副主幹

研究指導員

運営部会

研　究　部

所長

編　集　部

厚　生　部

小・中学校教職員

小・中学校長会

三股町教育研究会

各研究会・主任会

(5) 定例研究日及びその内容は、およそ次の通りとする。

（ア）定例研究日　①　原則として火曜日（祝日等の場合は変更）とし、月３回以内で、午後５時００分以降に行うものとする。但し、状況によって期日等は変更できる。

②　長期休業中は、別にこれを定める。

（イ）内　容　　　①　全体研究会　②班別研究会　③運営部会　④研究に関する作業

（ウ）その他　　　①　発表、司会、記録等の当番を決める。

**５　連携する教育機関・団体等**

(1) 九州地区教育研究所連盟（加盟）

(2) 宮崎県教育研修センター（九州地区教育研究所連盟宮崎県事務局）

(3) 南部教育事務所

(4) 三股町立小･中学校長会

(5) 三股町教育研究会

(6) 三股町立小･中学校

(7) 都城市教育研究所

(8) その他必要な機関・団体

**６　研究員心得**

|  |
| --- |
| 研究員は、文教三股の教育創造のために、お互いにコミュニケーションを図り、三股町教育施策及び教職員のニーズに添って、プロフェッショナルとして絶えず創意工夫し研究事業に従事する。そのために次のことに留意する。  (1) 研究員は、上司の命に従い研究所の職責を遂行するとともに、絶えず未知のことに挑戦する活気と意欲をもつように努める。  (2)　研究員は、組織をもって研究に当たり、互いに協力して英知を出し合い、町内小・中学校の教育水準及び教職員の資質向上に貢献できるよう努める。  (3)　研究員は、共同研究を円滑に推進するために次のことに留意する。  　 （ア）　研究員らしい服装、あいさつ、言葉遣いに心がけ、明るい雰囲気づくりに努める。  （イ）　他人の意見に真剣に耳を傾け、積極的に意見を出し合う。  （ウ）　時間厳守に努める。  （エ）　業務で出張・外出する際は、校長の了解を得て復命する。（別途旅費の場合もある。）  （オ）　欠席、遅刻等の事情が生じた時は速やかに研究指導員に連絡する。  （カ）　研究会では、司会、研究記録簿の記入、湯茶の準備、清掃、後始末、戸締りなどを行う。  (4)　研究員は、研究課題が出された場合はレポート等を提出する。  (5)　研究員は、学校の職務と研究所業務の両立を心掛けて、心身の健康に留意し、仕事の効率化と生活時間の工夫に努める。  (6)　研究員は、情報管理に十分配慮し、外部に出す場合は上司の了解を得る。 |

**７　創立以来の研究主題・副題・刊行物**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年　度 | 研究主題　　　～副題～ | 刊行物 |
| 平成  元年度 | 自ら考え，判断し，行動できる児童・生徒の育成  ～道徳・特別活動の指導を通して～ | ○平成元年度研究紀要  ○研究所だより第１・２号 |
| 平成  ２年度 | 自ら考え，判断し，行動できる児童・生徒を育成する学級活動の研究  ～自主的な話し合い活動を取り入れた指導法を中心として～ | ○平成２年度研究紀要  ○研究所だより第３・４号 |
| 平成  ３年度 | 高度情報社会を生き抜く児童・生徒の育成  ～初歩的なコンピューターの活用はどうあればよいか～ | ○平成３年度研究紀要  ○研究所だより第５・６号 |
| 平成  ４年度 | 学校におけるコンピューターの望ましい活用はどうあればよいか  ～コンピューターの初歩的な活用を通して～ | ○平成４年度研究紀要  ○研究所だより第７・８号 |
| 平成  ５年度 | 学校におけるコンピューターの望ましい活用はどうあればよいか  ～進んで楽しく使えるコンピューターをめざして～ | ○平成５年度研究紀要  ○研究所だより第９・10号 |
| 平成  ６年度 | 学校におけるコンピューターの望ましい活用はどうあればよいか  ～だれもが使えるコンピューターをめざして～ | ○平成６年度研究紀要  ○研究所だより第11・12号 |
| 平成  ７年度 | 自ら進んで学ぶ児童・生徒の育成  ～授業及び日常におけるコンピューターの活用を通して～ | ○平成７年度研究紀要  ○研究所だより第13・14号 |
| 平成  ８年度 | 自ら進んで学ぶ心豊かな子どもの育成  ～地域素材を生かした学習活動を通して～ | ○平成８年度研究紀要  ○研究所だより第15・16号 |
| 平成  ９年度 | 自ら進んで学ぶ心豊かな子どもの育成  ～地域素材を生かした学習活動を通して～ | ○平成９年度研究紀要  ○研究所だより第17・18号 |
| 平成  10年度 | 自ら進んで学ぶ心豊かな子どもの育成  ～「地域素材の効果」を高める支援・評価の在り方～ | ○平成10年度研究紀要  ○研究所だより第19・20号 |
| 平成  11年度 | ふるさと三股に学び『生きる力』を拓く子どもの育成  ～地域とのふれ合いを大切にする教育活動を通して～ | ○平成11年度研究紀要  ○研究所だより第21・22号 |
| 平成  12年度 | ふるさと三股に学び『生きる力』を拓く子どもの育成  ～家庭・地域と学校が連携を深める教育活動を通して～ | ○平成12年度研究紀要  ○研究所だより第23・24号 |
| 平成  13年度 | ふるさと三股に学び『生きる力』を拓く子どもの育成  ～家庭・地域と学校が連携を深める教育活動を通して～ | ○平成13年度研究紀要  ○研究所だより第25～28号 |
| 平成  14年度 | 確かな学力を身につけ，『生きる力』を拓く子どもの育成  ～「国語科」での基礎・基本を生かした「総合的な学習の時間」における取組を通して～ | ○平成14年度研究紀要  ○研究所だより第29～31号 |
| 平成  15年度 | 確かな学力を身に付け，『生きる力』を拓く子どもの育成  ～「国語科」の「話すこと・聞くこと」の基礎・基本の確実な定着を目指して～ | ○平成15年度研究紀要  ○研究所だより第32～34号 |
| 平成  16年度 | 確かな学力を身に付け，『生きる力』を拓く子どもの育成  ～各教科の基礎・基本を生かした「総合的な学習の時間」の取組を通して～ | ○平成16年度研究紀要  ○研究所だより第35～37号 |
| 平成  17年度 | 確かな学力を身に付け，『生きる力』を拓く子どもの育成  ～小中連携を大切にした学力向上を目指す学習指導の工夫・改善～ | ○平成17年度研究紀要  ○研究所だより第38～40号 |
| 平成  18年度 | 確かな学力を身に付け，『生きる力』を拓く子どもの育成  ～小中連携を大切にした学力向上を目指す学習指導の工夫・改善～ | ○平成18年度研究紀要  ○研究所だより第41～43号 |
| 平成  19年度 | 確かな学力を身に付け，『生きる力』を拓く子どもの育成  ～小中連携を大切にした学力向上を目指す学習指導の工夫・改善～ | ○平成19年度研究紀要  ○研究所だより第44～46号 |
| 平成  20年度 | 三股の特性を生かした小中一貫教育の研究  ～学校と家庭・地域社会が連携した「あいさつ」「清掃」「郷土学習」の在り方 | ○平成20年度研究紀要  ○研究所だより第47～49号 |
| 平成  21年度 | 三股の特性を生かした小中一貫教育の研究  ～学校と家庭・地域社会が連携した「あいさつ」「清掃」「郷土学習」の在り方～ | ○平成21年度研究紀要  ○研究所だより第50～52号  ○文教みまた伝統教育 ＤＶＤ  ○文教みまたの基本的な行動様式（ＤＶＤ付） |
| 平成  22年度 | 三股の特性を生かした小中一貫教育の研究  ～学校と家庭・地域社会が連携した「あいさつ」「清掃」「郷土学習」の在り方～ | ○平成22年度研究紀要  ○清掃指導資料  ○研究所だより第53～55号  ○手引「文教みまた」の教育 |
| 平成  23年度 | 三股町における教育の情報化の研究  ～教科指導・情報教育・校務の情報化の在り方～ | ○平成23年度研究紀要  ○研究所だより第56～58号 |
| 平成  24年度 | 三股町における教育の情報化の研究  ～教科指導・情報教育・校務の情報化の在り方～ | ○平成24年度研究紀要  ○研究所だより第59～61号  ○実物投影機簡単マニュアル |
| 平成  25年度 | 三股町における教育の情報化の研究  ～教科指導・情報教育・校務の情報化の在り方～ | ○平成25年度研究紀要  ○研究所だより第62～64号  ○ICT機器「使い方サンプル」  ○情報モラル指導計画 |
| 平成  26年度 | みまたん子の学力を伸ばす学習指導等の研究  ～小中連携を大切にした基礎的・基本的な内容の定着と学習習慣の形成を目指して～ | 〇平成２６年度研究紀要  〇研究所だより第65～67号  〇家庭学習の手引き |
| 平成  27年度 | みまたん子の学力を伸ばす学習指導等の研究  ～小中連携を大切にした基礎的・基本的な内容の定着と学習習慣の形成を目指して～ | 〇平成２７年度研究紀要  （町内小・中学校合作）  〇研究所だより第68～70号 |
| 平成  28年度 | みまたん子の学力を伸ばす学習指導等の研究  ～小中連携を大切にした基礎的・基本的な内容の定着と学習習慣の形成を目指して～ | 〇平成２８年度研究紀要  （町内小・中学校合作）  〇研究所だより第71～73号 |
| 平成  29年度 | みまたん子の学力を伸ばす学習指導等の研究  ～各教科等におけるタブレットＰＣの効果的な活用の在り方を通して～ | 〇平成２９年度研究紀要  ○研究所だより第74～76号 |
| 平成  30年度 | 主体的に学習に取り組み、協働的に問題を解決できるみまたん子の育成  ～タブレットＰＣの効果的な活用の在り方を通して～ | 〇平成３０年度研究紀要  ○研究所だより第77～79号  ○ＴＰＣ活用事例集 |
| 平成31年度  令和元年度 | 主体的に学習に取り組み、協働的に問題を解決できるみまたん子の育成  ～プログラミング教育に係る授業を通して～ | ○令和元年度研究紀要  ○研究所だより第80～82号 |
| 令和  ２年度 | 主体的に学習に取り組み、協働的に問題を解決できるみまたん子の育成  ～児童生徒一人一人に応じた学習指導法の工夫改善を通して～ | ○令和２年度研究紀要  ○研究所だより第83～85号 |
| 令和  ３年度 | 児童生徒一人一人に応じた学習指導法の研究  ～認知能力検査NINO及びタブレットＰＣの効果的な活用を通して～ | ○令和３年度研究紀要  ○研究所だより第86～88号  ○ＴＰＣ活用事例集２ |
| 令和  ４年度 | 個別最適な学びの実現に向けた学習指導法の研究  ～「みまたん学習モデル」の改訂とＩＣＴの活用を通して～ | 〇令和４年度研究紀要  〇研究所だより第89～91号 |
| 令和  ５年度 | 〇令和５年度研究紀要  〇研究所だより第92～94号 |
| 令和  ６年度 | 個別最適な学びの実現に向けた学習指導法の研究  ～「みまたん学習モデル」と「ひなたの学び」の融合を図った学習指導を通して～ | 〇令和６年度研究紀要  〇研究所だより第95～97号 |

**８　研究所員**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 職　名 | 氏　　　名 | 所　　　　　属 | 備　　　　考 |
| 所　長 | 米　丸　麻貴生 | 三股町教育委員会 | 教育長 |
| 次　長 | 島　田　美　和 | 三股町教育委員会 | 教育課　課長 |
| 課長補佐 | 下　西　志　浩 | 三股町教育委員会 | 教育課 |
| 主　幹 | 松　下　　　綾 | 三股町教育委員会 | 教育課 |
| 副主幹 | 平　田　智　希 | 三股町教育委員会 | 教育課 |
| 係　長 | 戸　髙　志　織 | 三股町教育委員会 | 教育課　研究所担当 |
| 研究指導員 | 横　田　通　久 | 三股町教育委員会 | 教育課　研究指導員 |
| 研究員 | 北　村　恭　子 | 三股小学校 | 教　　諭 |
| 研究員 | 福　永　祐　哉 | 三股小学校 | 教　　諭 |
| 研究員 | 村　雲　来　賀 | 勝岡小学校 | 教　　諭 |
| 研究員 | 菅　原　幸　一 | 梶山小学校 | 教　　諭 |
| 研究員 | 間　宮　千　尋 | 宮村小学校 | 養護教諭 |
| 研究員 | 前　原　雄　一 | 長田小学校 | 教　　諭 |
| 研究員 | 安　藤　夏　奈 | 三股西小学校 | 教　　諭 |
| 研究員 | 西　畑　直　子 | 三股西小学校 | 教　　諭 |
| 研究員 | 中　島　航　輝 | 三股中学校 | 教　　諭 |
| 研究員 | 牧　野　将　太 | 三股中学校 | 教　　諭 |

**９　研究の概要**

(1) 研究主題及び副題

　　 研究主題　　個別最適な学びの実現に向けた学習指導法の研究

　　 副　　題　　　　「みまたん学習モデル」と「ひなたの学び」の融合を図った学習指導を通して

(2) 主題設定の理由

　　　　　　令和３年１月の中教審の「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」の答申で「個別最適な学び」が提言された。このことは、これまでの学習指導要領でも「個に応じた指導」として提言されてきたが、「個に応じた指導」を「指導の個別化」「学習の個性化」の観点から整理し、「個別最適な学び」として学習者側の視点で指導や支援を考えることで、「個に応じた指導」の充実をより一層図るものである。しかし、個を重視するあまり、「個別最適な学び」が、「孤立した学び」を生み出すこともある。そうならないためにも、「協働的な学び」の充実が必要になってくる。

「協働的な学び」においては、集団の中で個が埋没してしまうことがないように「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行うことで、児童・生徒の個性（よさや可能性）　が生かされ、異なる考え方が組み合わさり、よりよい学びを生み出すことになっていく。このことから、学校における授業づくりに当たっては、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の要素が組み合わさって実現されることが望ましいといえる。今後、各学校においては、教科等の特質に応じ、児童生徒の実情を踏まえながら、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的にとらえ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が求められる。

　　　　　　本町では令和５年度、研究主題「個別最適な学びの実現に向けた学習指導法の研究」、副題「『みまたん学習モデル』の改訂とＩＣＴの活用を通して」として研究に取り組んできた。特に、「みまたん学習モデル」においては、「個別最適な学び」を目指し、これまで研究してきた認知能力検査ＮＩＮＯ（以下「NINO」という。）の結果とその分析を学習指導に明確に位置付けてきた。この「みまたん学習モデル」を、授業者の視点と学習者である児童生徒の視点から見直し、授業改善を行い「個別最適な学び」に向けた学習指導法について究明してきたが、その実現には至ってない。

　　　　　　　県では、現在児童生徒の異なる考え方が組み合わさり、よりよい考えにつながる協働的な学びを目指した「ひなたの学び」を推奨している。この「ひなたの学び」は、本町の学習モデル「みまたん学習モデル」のねらいや特徴との重複もある。この両者のねらいや特徴を共有していくことは、今後大きな教育的効果が期待できるものと思われる。そこで、「みまたん学習モデル」と「ひなたの学び」を融合した新たな学習モデルを構築し、授業レベルでの実践化を目指すことで、研究主題にある個別最適な学びの実現、ひいては「主体的・対話的で深い学び」の実現につながるものと思われる。

(3) 研究目標

個別最適な学びに向けた学習指導や支援を行うために、NINOの結果分析を位置付けた「みまたん学習モデル」と協働的な学びの方向性が示されている「ひなたの学び」を融合した新たな学習モデルを構築し、その実践化を図る。

(4) 研究仮説

「NINO」の結果と分析からの有効な手立てを位置付けた「みまたん学習モデル」と県が協働的な学びの方向性を示している「ひなたの学び」との融合を図った新たな学習モデルを構築し、実際の授業において活用していくことで、個別最適な学びに向けた学習指導や支援の充実につなげることができるであろう。

**１０　研究の全体構想**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 学習指導要領  宮崎県教育基本方針 |  | **三股町教育基本方針** | |  | 三股町の特性  ○「文教みまた」の教育  ○小学校６校・中学校１校 |
|  |  |
| 未来を創る　心豊かで活気あふれる　文教三股の人づくり |  | ＜基本目標＞ |  |  |  |
| 三股町小中学校校長会 |  |  | 三股町教育研究会 |
| 三股町小中学校教頭会 |  |  | 三股町情報教育研究会 |
| 三股町教育ＣＩＯ補佐官 |  |  | 三股町伝統教育研究会 |
|  | | |  |  |
| 研究で目指す学校像・教師像・児童生徒像 | | | | | |
| ○　学校間の連携を図りながら、確実な共通実践を教育活動において展開しようとする学校  ○　小・中学校の連携を大切に、ＩＣＴ機器の効果的な活用を通して、基礎的・基本的な内容の定着や学習習慣の形成を図るための実践的な研究と計画的な取組を行おうとする教師  ○　基礎的・基本的な学習内容を身に付け、情報を整理し活用できる力をもった児童生徒  ○　自分の考えをもち、他者と意見を交わし合いながら、問題解決に向けて主体的に取り組むことのできる児童生徒 | | | | | |
|  |  |  |  |  |  |
| 研究主題　及び　副題 | | | | | |
| 個別最適な学びの実現に向けた学習指導法の研究  ～「みまたん学習モデル」と「ひなたの学び」の融合を図った学習指導を通して～ | | | | | |
|  |  |  |  |  |  |
| 研　究　目　標 | | | | | |
| 個別最適な学びに向けた学習指導や支援を行うために、「NINO」の結果分析を位置付けた「みまたん学習モデル」と協働的な学びの方向性が示されている「ひなたの学び」を融合した新たな学習モデルを構築し、その実践化を図る。 | | | | | |
|  |  |  |  |  |  |
| 研　究　仮　説 | | | | | |
| 「ＮＩＮＯ」の結果と分析からの有効な手立てを位置付けた「みまたん学習モデル」と県が協働的な学びの方向性を示している「ひなたの学び」との融合を図った新たな学習モデルを構築し、実際の授業において活用していくことで、個別最適な学びに向けた学習指導や支援の充実につなげることができるであろう。 | | | | | |
|  |  |  |  |  |  |
| 研　究　内　容 | | | | | |
| 学習指導法研究班 | | | | | |
| 「個別最適な学び」の実現に向けた学習指導や支援を行うために  　１　新たな学習モデルの構築（「みまたん学習モデル」と「ひなたの学び」の融合）  　　(1) 「ひなたの学び」の具体的なイメージ化  　　(2) 「みまたん学習モデル」と「ひなたの学び」の融合を図った新たな学習モデルの作成  　２　新たな学習モデルの実践化  (1) 学習モデルに基づいた授業づくり  (2) 授業実践 | | | | | |
|  | | |  | | |
| 町 内 7 校 の 主 題 研 究 | | | | | |

**１１　事業計画（案）**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 研　究　会　等 | 月 | 日 | 曜 | 場　所 | 研　究　内　容 |
|  | 三股町教育研究所委嘱状交付式・第 １回研究会 | ４ | 23 | 火 | 役場4階 | 町教育研究所開所式・委嘱状交付式 |
| 第 2回研究会 | 30 | 火 | 第３研修室 | 令和５年度の研究、令和６年度の研究 |
| 第 3回研究会 | ５ | ７ | 火 | 第３研修室 | 研究計画、研究内容（全体構想図ほか） |
|  | 第 4回研究会 | 21 | 火 | 第３研修室 | 全体研修、班別研修（学習モデル） |
|  | 第 5回研究会 | ６ | ４ | 火 | 第３研修室 | 全体研修、班別研修（学習モデル） |
| 第 6回研究会 | 18 | 火 | 第３研修室 | 全体研修、班別研修（授業改善） |
| 第 7回研究会 | ７ | ２ | 火 | 第３研修室 | 全体研修、班別研修（授業改善） |
| 第 8回研究会 | 16 | 火 | 第３研修室 | 全体研修、班別研修（授業改善） |
| 研究所だより発行 |  |  |  | 「研究所だより第９５号」発行 |
| 第 9回研究会 | ８ | 27 | 火 | 第３研修室 | 全体研修、班別研修（授業改善） |
|  | 第10回研究会 | ９ | ３ | 火 | 第３研修室 | 第１回研究授業事前研究会 |
|  | 第11回研究会 | 17 | 水 | 三股小学校 | 第１回研究授業・事後研究会 |
|  | 第12回研究会 | 10 | １ | 火 | 第３研修室 | 第２回研究授業事前研究会① |
|  | 第13回研究会 | 15 | 火 | 第３研修室 | 第２回研究授業事前研究会② |
|  | 第14回研究会 | 29 | 火 | 三股中学校 | 第２回研究授業授業・事後研究会 |
|  | 第15回研究会 | 11 | ５ | 火 | 第３研修室 | 秋季研究大会に係る中間発表検討① |
| 教育研究会秋季研究大会 | ６ | 水 | 三股中学校 | 研究成果発表①（中間発表） |
| 第75回九州教育研究所連盟研究発表大会 | 14 | 木 | 那覇市 | 総会、記念講演、市町部会ほか |
| 15 | 金 | 那覇市 | 研究発表会Ⅰ・Ⅱ、閉会行事 |
| 第16回研究会 | 26 | 火 | 第３研修室 | 発表大会復命、研究紀要作成分担ほか |
|  | 第17回研究会 | 12 | ３ | 火 | 第３研修室 | 研究紀要内容検討、閉所式発表内容検討 |
| 第18回研究会 | 17 | 火 | 第３研修室 | 研究紀要内容検討、閉所式発表内容検討 |
| 研究所だより発行 |  |  |  | 「研究所だより第９６号」発行 |
|  | 第19回研究会 | １ | 14 | 火 | 第３研修室 | 研究紀要内容検討、閉所式発表内容検討 |
|  | 第20回研究会 | 28 | 火 | 第３研修室 | 研究紀要内容検討、閉所式発表内容検討 |
|  | 第21回研究会 | ２ | ４ | 火 | 第３研修室 | 研究紀要内容検討、閉所式発表内容検討 |
|  | 第22回研究会 | 18 | 火 | 第３研修室 | 発表リハーサル |
|  | 令和６年度三股町教育研究所閉所式 | 20 | 木 | 役場4階 | 閉所式・研究成果発表② |
| 研究紀要、研究所だより発行 | ３ |  |  |  | 研究紀要・「研究所だより第９７号」発行 |

**１２　歴代研究所員**

**（１）歴代事務局職員**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 職 名 等 | 氏　　名 |  |
| 所　　長  〃  〃  〃  〃  〃  〃  〃 | 桑畑徳次郎  隈元　次也  中西　泰昌  田中　久光  岩﨑健一郎  宮内浩二郎  石崎　敬三  米丸麻貴生 | 平成元年度 ～ 平成３年度  平成４年度 ～ 平成７年度  平成８年度 ～ 平成16年6月20日  平成16年6月21日 ～ 平成24年6月20日  平成24年6月21日 ～ 平成25年3月 5日  平成25年4月25日 ～ 平成31年3月31日  平成31年4月 1日 ～ 令和４年3月31日  令和４年4月 1日 ～ |
| 次　　長  〃  〃  次　　長  〃  〃  〃  〃  〃  〃  〃  〃  〃  〃  〃  〃 | 大峰　美成  野元　康弘  竹田　良彦  柳橋　一彦  白濱　丸雄  大河内清彦  外園　純一  野元　祥一  重信　和人  山元　道弥  永吉　雅彦  渡具知　実  鍋倉　祐三  福永　朋宏  渡具知　実  島田　美和 | 平成元年度 ～ 平成４年度  平成５年度  平成６年度 ～ 平成７年度  平成８年度 ～ 平成10年度  平成11年度 ～ 平成13年度  平成14年度  平成15年度  平成16年度 ～ 平成23年度  平成24年度  平成25年度 ～ 平成26年度  平成27年度  平成28年度 ～ 平成29年度  平成30年度 ～ 令和２年度  令和３年度 ～ 令和４年度  令和５年度  令和６年度～ |
| 課長補佐 | 恒吉　正昭  下西　志浩 | 平成29年度 ～ 令和３年度  令和４年度 ～ |
| 主　　幹  〃  〃 | 長倉　　修  小野田武晃  松下　　綾 | 平成30年度 ～ 令和２年度  令和３年度  令和４年度 ～ |
| 副 主 幹  〃  〃  〃  〃 | 福永　弘幸  酒井　昭弘  原田　　誠  郡司　大円  平田　智希 | 平成25年度 ～ 平成26年度  平成27年度 ～ 平成28年度  平成29年度 ～ 令和元年度  令和２年度 ～ 令和４年度  令和５年度 ～ |
| 教育課教育  研究所担当  〃  〃  〃  〃  〃  〃  〃  〃  〃  〃  〃  〃 | 下沖　敏子  杉下　知子  酒井あきみ  永山　広美  長友　美樹  出水　真弓  湯浅かおり  山内まどか  湯浅かおり  井上　千里  山内　和広  戸髙　志織  橋口　桃子  戸髙　志織 | 平成元年度 ～ 平成６年度  平成７年度 ～ 平成８年度  平成９年度  平成10年度 ～ 平成13年度  平成14年度 ～ 平成19年度  平成20年度 ～ 平成24年度  平成25年度 ～ 平成26年度  平成26年度  平成27年度  平成28年度 ～ 平成29年度  平成30年度  平成31年度 ～ 令和４年度  令和５年度  令和６年度～ |
| 研究指導員  〃  〃  〃  〃  〃  〃  〃  〃  〃  研究指導員 | 桑山　　誠  桑畑　初也  下大田義弘  福重　晴夫  立元　久夫  坂元　克吉  黒木　敏行  馬場　真吾  園田　修司  日淺　雅道  横田　通久 | 平成元年度 ～ 平成６年度  平成７年度  平成８年度 ～ 平成10年度  平成11年度  平成12年度 ～ 平成13年9月30日  平成13年10月1日 ～ 平成15年度  平成16年度 ～ 平成25年度  平成26年度 ～ 平成28年度  平成29年度 ～ 令和４年度  令和５年度  令和６年度 ～ |

**（２）歴代研究員**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | 番号 | 氏　　名 | 在　任　期　間 | 番号 | 氏　　名 | 在　任　期　間 |  |
|  | | １ | 有村　博満 | 平成元年度～２年度 | ５１ | 鶴田　浩明 | 平成９年度～10年度 |  |
|  | | ２ | 横田　通久 | 平成元年度～２年度 | ５２ | 片田　　茂 | 平成９年度～10年度 |  |
|  | | ３ | 篠原　義行 | 平成元年度 | ５３ | 黒木真由美 | 平成10年度～11年度 |  |
|  | | ４ | 西畑　幸一 | 平成元年度～２年度 | ５４ | 二宮　　聡 | 平成10年度～11年度 |  |
|  | | ５ | 小島　敏郎 | 平成元年度～２年度 | ５５ | 谷村　平昭 | 平成10年度 |  |
|  | | ６ | 川野　敏広 | 平成元年度 | ５６ | 鈴木　和義 | 平成10年度～11年度 |  |
|  | | ７ | 池田　泰子 | 平成元年度 | ５７ | 大嶋佐知子 | 平成10年度～11年度 |  |
|  | | ８ | 池田　秀夫 | 平成元年度 | ５８ | 渡　　　勝 | 平成10年度～11年度 |  |
|  | | ９ | 斉藤　克彦 | 平成元年度～２年度 | ５９ | 宇都野　研 | 平成10年度 |  |
|  | | １０ | 楠牟禮　武 | 平成元年度 | ６０ | 玉木　克憲 | 平成11年度～12年度 |  |
|  | | １１ | 野口　直矩 | 平成２年度～３年度 | ６１ | 富岡　範之 | 平成11年度 |  |
|  | | １２ | 中村　辰郎 | 平成２年度～３年度 | ６２ | 吉田　佳充 | 平成11年度～12年度 |  |
|  | | １３ | 本田　良介 | 平成２年度～３年度 | ６３ | 橋口　浩康 | 平成11年度 |  |
|  | | １４ | 土井　恵子 | 平成２年度 | ６４ | 淺田　　肇 | 平成11年度～12年度 |  |
|  | | １５ | 千代反田寛 | 平成２年度 | ６５ | 日高　鶴世 | 平成11年度 |  |
|  | | １６ | 田原　誠一 | 平成３年度～５年度 | ６６ | 束野千穂子 | 平成12年度～13年度 |  |
|  | | １７ | 田中　美充 | 平成３年度～４年度 | ６７ | 岡崎　貴子 | 平成12年度～13年度 |  |
|  | | １８ | 日高誠一郎 | 平成３年度～５年度 | ６８ | 別府　英樹 | 平成12年度～13年度 |  |
|  | | １９ | 須賀田和子 | 平成３年度 | ６９ | 桑迫　　明 | 平成12年度～13年度 |  |
|  | | ２０ | 高森　賢一 | 平成３年度～４年度 | ７０ | 濱﨑かおり | 平成12年度～13年度 |  |
|  | | ２１ | 飛松　　功 | 平成３年度 | ７１ | 中山　貴義 | 平成12年度～13年度 |  |
|  | | ２２  ２３ | 田邊　文彦  岩崎　文彰 | 平成３年度  平成４年度～５年度 | ７２ | 長田　直子 | 平成13年度 |  |
|  | | ７３ | 池水　則雄 | 平成13年度 |  |
|  | | ２４ | 榊原　　茂 | 平成４年度 | ７４ | 柚木﨑　誠 | 平成13年度～14年度 |  |
|  | | ２５ | 本部礼次郎 | 平成４年度 | ７５ | 坂元　祐征 | 平成13年度～14年度 |  |
|  | | ２６ | 宮崎　久子 | 平成４年度～５年度 | ７６ | 竹森　文洋 | 平成14、24～25年度 |  |
|  | | ２７ | 上川路伸一 | 平成４年度～５年度 | ７７ | 末廣　　功 | 平成14年度 |  |
|  | | ２８ | 尾前　亮一 | 平成５年度 | ７８ | 下津　謙之 | 平成14年度 |  |
|  | | ２９ | 岡本　佳三 | 平成５年度～６年度 | ７９ | 野﨑　成嗣 | 平成14年度～15年度 |  |
|  | | ３０ | 甲斐　真理 | 平成５年度～６年度 | ８０ | 長友　聡美 | 平成14年度～15年度 |  |
|  | | ３１ | 﨑田　茂樹 | 平成５年度～６年度 | ８１ | 大西　　寛 | 平成14年度～15年度 |  |
|  | | ３２ | 中野　克洋 | 平成５年度～６年度 | ８２ | 井上　浩樹 | 平成14年度～15年度 |  |
|  | | ３３ | 萱嶋　秀雄 | 平成６年度～７年度 | ８３ | 濱脇きよみ | 平成14年度～15年度 |  |
|  | | ３４ | 岩崎　　淳 | 平成６年度 | ８４ | 児玉　尚洋 | 平成15年度～16年度 |  |
|  | | ３５ | 日高　正博 | 平成６年度～７年度 | ８５ | 津江　麗子 | 平成15年度～16年度 |  |
|  | | ３６ | 八重尾初久 | 平成６年度～７年度 | ８６ | 安藤加代子 | 平成15年度～16年度 |  |
|  | | ３７ | 川上美和子 | 平成６年度～７年度 | ８７ | 福山　勝文 | 平成15年度～16年度 |  |
|  | | ３８ | 野島　　玄 | 平成６年度～７年度 | ８８ | 菅沼　彰洋 | 平成15年度～16年度 |  |
|  | | ３９ | 日高　千穂 | 平成７年度～８年度 | ８９ | 宗像　瑞代 | 平成16年度 |  |
|  | | ４０ | 池田　弘美 | 平成７年度～８年度 | ９０ | 柿田　雅彦 | 平成16年度～17年度 |  |
|  | | ４１ | 鈴木　康伸 | 平成７年度～８年度 | ９１ | 弓削　光孝 | 平成16年度～17年度 |  |
|  | | ４２ | 吉田　育郎 | 平成７年度 | ９２ | 山内けい子 | 平成16年度～17年度 |  |
|  | | ４３ | 神﨑　美希 | 平成８年度～９年度 | ９３ | 田原　理恵 | 平成16年度～17年度 |  |
|  | | ４４ | 鶴田　裕一 | 平成８年度～９年度 | ９４ | 細山田和彦 | 平成17年度～18年度 |  |
|  | | ４５ | 杉木　裕二 | 平成８年度～９年度 | ９５ | 岩切　武志 | 平成17年度～18年度 |  |
|  | | ４６ | 溝口　常彦 | 平成８年度～９年度 | ９６ | 渡邉　光浩 | 平成17年度～18年度 |  |
|  | | ４７ | 黒木　朋子 | 平成８年度～９年度 | ９７ | 南谷　智昭 | 平成17年度～18年度 |  |
|  | | ４８ | 守屋　美樹 | 平成８年度～９年度 | ９８ | 田中　浩己 | 平成17年度～18年度 |  |
|  | | ４９ | 小野　智弘 | 平成８年度～９年度 | ９９ | 主税　英治 | 平成17年度～18年度 |  |
|  | | ５０ | 北野　英雄 | 平成９年度～10年度 | １００ | 福満恵里子 | 平成18年度～19年度 |  |
|  |
|  |
|  | 番号 | 氏　　名 | 在　任　期　間 | 番号 | 氏　　名 | 在　任　期　間 |  |
| １０１１０２  １０３  １０４  １０５  １０６  １０７  １０８  １０９  １１０  １１１  １１２  １１３  １１４  １１５  １１６  １１７  １１８  １１９  １２０  １２１  １２２  １２３  １２４  １２５  １２６  １２７  １２８  １２９  １３０  １３１  １３２  １３３  １３４  １３５  １３６  １３７  １３８  １３９  １４０  １４１  １４２  １４３  １４４  １４５  １４６  １４７  １４８  １４９  １５０ | 宮脇誠一郎  宮下　慶子  藤田　陽一  玉木　昌子  山本　　亮  西村 直美  原　　圭史  小川 賢治  富士本次洋  久保田　光  吉村　貴樹  宇戸田　貢  馬場　　智  押方由美子  倉田　和也  黒木　賢一  湯地　豊和  行田真由美  丸山　　広  古賀　正洋  田口　道士  古川　ゆか  石崎　文代  渡邉　友恵  小野田武晃  享保健太郎  内村　和義  鹿嶋美由紀  平田　智希  中世　宏樹  窪谷　藍弓  武本　良重  小野　裕子  源　　千穂  外山　　繁  坂元恵美子  西　　慎吾  中原さおり  杉尾　政和  髙橋　亮一  住　政志  福岡　茂樹  渡邉　政彦  林　　耕治  松田　優子  外山　 繁  黒木　千穂  西川　　元  緒方　宏文  福永　悦子 | 平成18年度  平成18年度～19年度  平成18年度～19年度  平成19年度～20年度  平成19年度  平成19年度  平成19～20、22～23  平成19年度～20年度  平成19年度～20年度  平成19年度～20年度  平成20年度～21年度  平成20年度  平成20年度～21年度  平成20年度～21年度  平成20年度～21年度  平成21年度～22年度  平成21年度～22年度  平成21年度～22年度  平成21年度～22年度  平成21年度～22年度  平成21年度～22年度  平成22年度～23年度  平成22年度～23年度  平成22年度～23年度  平成23年度～24年度  平成23年度～24年度  平成23年度～24年度  平成23年度～24年度  平成23年度～24年度  平成23年度～24年度  平成24年度～25年度  平成24年度～25年度  平成24年度～25年度  平成25年度～26年度  平成25年度  平成25年度～26年度  平成25年度～26年度  平成25年度～26年度  平成25年度～26年度  平成26年度～27年度  平成26年度  平成26年度～27年度  平成26年度～27年度  平成26年度～27年度  平成27年度～28年度  平成27年度～28年度  平成27年度～28年度  平成27年度  平成27年度～28年度  平成27年度～28年度 | １５１  １５２  １５３  １５４  １５５  １５６  １５７  １５８  １５９  １６０  １６１  １６２  １６３  １６４  １６５  １６６  １６７  １６８  １６９  １７０  １７１  １７２  １７３  １７４  １７５  １７６  １７７  １７８  １７９  １８０  １８１  １８２  １８３  １８４  １８５  １８６  １８７  １８８  １８９  １９０  １９１  １９２  １９３  １９４  １９５  １９６  １９７  １９８  １９９  ２００ | 近藤加代子  日髙　政晴  藤田　政宏  小山田友美  木村　精吾  能勢　和弘  佐藤　文香  奥野左紀子  田　拓晃  南　洋一郎  甲斐　真由  荒井のぞ美  藤田　政宏  郡　　千裕  山下雄太郎  上森　翔太  杉尾　育樹  渡邉　彩香  髙﨑　雅士  原口　愛未  森　　瑞樹  荒木　秀太  中野　一幸  濱口　周子  谷　あすか  黒木　慶太  茂田　大輝  佐藤　祐二  梅ケ谷優紀  吉川　真琴  今村　信春  上村　亮平  稲垣　亜美  前原　雄一  池田　珠希  山本　義隆  児玉　大典  竹村　優輝  　菅原 幸一  　間宮　千尋  　安藤　夏奈  　中島　航輝  北村　恭子  福永　祐哉  村雲　来賀  西畑　直子  牧野　将太 | 平成28年度～29年度  平成28年度～29年度  平成28年度～29年度  平成28年度～29年度  平成28年度～29年度  平成29年度～30年度  平成29年度～30年度  平成29年度～30年度  平成29年度～30年度  平成29年度～30年度  平成30年度～31年度  平成30年度～31年度  平成30年度～31年度  平成30年度～31年度  平成30年度  平成31年度～令和2年度  平成31年度～令和2年度  平成31年度～令和2年度  平成31年度～令和2年度  平成31年度  平成31年度～令和2年度  令和２年度～３年度  令和２年度～３年度  令和２年度～３年度  令和２年度～３年度  令和２年度～３年度  令和３年度～４年度  令和３年度～４年度  令和３年度～４年度  令和３年度～４年度  令和３年度  令和４年度～５年度  令和４年度～５年度  令和４年度～６年度  令和４年度～５年度  令和４年度  令和４年度～５年度  令和５年度  令和５年度～６年度  令和５年度～６年度  令和５年度～６年度  令和５年度～６年度  令和６年度～７年度  令和６年度  令和６年度～７年度  令和６年度～７年度  令和６年度～７年度 |  |

**１３　令和６年度　三股町立小・中学校の研究主題・副題**

　【三股小学校】

|  |
| --- |
| 研究主題　　進んで自分の考えを表現できる児童の育成  　副　　題　　ＮＩＮＯを活用した児童理解と授業の工夫・改善を通して |

　【勝岡小学校】

|  |
| --- |
| 研究主題　　主体的・協働的に学ぶ児童の育成  　副　　題　　ＰＩＳＡ型読解力を育む授業づくりの工夫を通して |

　【梶山小学校】

|  |
| --- |
| 研究主題　　「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現する児童の育成  副　　題　　「対話」を中心とする「ひなたの学び」の実現を目指した国語科  と算数科の授業づくりを通して |

　【宮村小学校】

|  |
| --- |
| 研究主題　　児童が「分かった・できた」と実感できる授業の在り方  　副　　題　　実態調査を活用した多層指導を通して |

　【長田小学校】

|  |
| --- |
| 研究主題　　互いのよさや違いを認め合い、自他ともに大切にする心の育成 |

　【三股西小学校】

|  |
| --- |
| 研究主題　　思いや考えを伝え合い、主体的に学ぶ三股西っ子の育成  　副　　題　　インプットとアウトプットを繰り返す国語科授業の創造を通して |

　【三股中学校】

|  |
| --- |
| 研究主題　　みまたん子の学力を伸ばし、主体的に学習できる生徒の育成  　副　　題　　スクールワイドＰＢＳを生かした指導・支援およびＩＣＴの効果的な活用と主体的・対話的な学びを意識した授業改善を通して |